

平成 27 年 12 月 16 日(水)～17 日(木)、1 泊 2 日の日程で慶応義塾大学・東京大学・東京工業大学との連携講座を実施しました。この連携講座は 5 年目ですが、昨年から東京大学に加えて東工大・慶応大でも開講していただき、大変充実したものになっています。参加者は 1 年生(70 回生)の希望者 22 名(男子 6・女子 16)と、藤居校長、1 年学年主任の篠宮の総勢 24 名でした。



16 日(水)は、長浜駅 7:20 集合で 10 時過ぎに品川駅に無事到着しました。品川駅ホームには、慶応義塾大学 法務研究科教授 北居 功氏(32 回卒)が出迎えてくださいました。慶応義塾大学三田キャンパスに着くと、500 人規模の講義室(階段教室)や近代的な図書館、歴史を感じさせる旧図書館や三田演説館などの校舎や建物に案内していただき、見学することができました。昼食は、北居教授のご厚意により大学構内の教師用レストランでいた

だきました。その後、北居教授の『未成年者の法律上の意義』と題した特別講義を受けました。生徒は、日頃あまりなじみのない多くの法律名に戸惑いながらも、自分たち未成年者の権利と保護に関わる身近な問題として、興味深く講義を受けている様子でした。昨年は大雪のため、新幹線が遅れ、受けることができなかった北居教授の特別講義ですが、生徒にとっては大学での法学講義の一端に触れることができた貴重な体験となったようです。





13:20頃に三田キャンパスをあとにし、北居教授の案内で東京大学に向かいました。東京大学の正門には東京大学大学院 工学系研究科教授 高田 毅士氏(25回卒)と東京大学 知の構造化センター 特任研究員 中山 郁英氏(57回卒)が出迎えてくださいました。その後、高田教授の案内で、広大なキャンパスとすばらしい施設、

また三四郎池などの史跡を見学させていただきました。最後に、先生の研究室の屋上に案内していただき、そこから見た安田講堂などのキャンパスやスカイツリーなど東京都心の風景には、生徒達もお互いに写真を撮るなど大変興味深い様子でした。そのあと、高田先生には『確率的思考と地震安全問題』と題して講義していただきました。生徒達は、虎姫高校の「SS数学I」で学んだ確率が、最先端の地震安全の研究で使われているという事実には驚いていた様子です。講義の内容は難しいものも含まれていましたが、スライドや図を使って高校生にもわかりやすく講義していただきました。



17:20頃に本郷キャンパスを後にし、地下鉄とJRを乗り継いで、18時頃に錦糸町の東急ホテルレバント東京にたどり着きました。生徒たちは夕食のバイキングにも十分満足できたようでした。

17日(木)午前はスカイツリーを見学しました。その後、東京工業大学 大岡山キャンパスへ地下鉄で移動。大岡山駅には、藤居研究室の学生が「歓迎！虎姫高校」のカードを手に出迎えてくれました。東京工業大学大学院 理工学研究科教授 藤居 俊之氏(35回卒)から東京工業大学について説明を受けたあと、大学構内にあるレストランで東京姉水会のみなさんや東工大の方々と一緒に昼食をいただきました。東京姉水会の皆さんとは、ローカルな湖北の話や様々な経験談、藤居研究室の学生の皆さんには学生生活などの貴重な話を聞かせていただける貴重な歓談の時間になりました。



午後からは、学生の方々と先生の案内で、東工大の広大なキャンパスを案内していただきました。近代的で大規模な図書館、貴重な走査透過電子顕微鏡や構内にあるスーパーコンピュータを見学させていただき、その設備や規模に驚くばかりでした。この間、藤居研究室の学生の皆さんには大変親切に案内していただき、生徒達は大変感動していました。

今回の慶応義塾大学・東京大学・東京工業大学との連携講座は、生徒にとって、日頃味わえないような貴重な体験を含む、中身の濃い1泊2日の連携講座になったようです。お世話いただいた東京姉水会のみなさま、北居教授、高田教授、藤居教授、東工大学生の方々にあらためてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



生徒感想（抜粋）

- 私にとって、初めての大学見学であり、どの大学もしレベルが高いので、驚いたことや感動したことはたくさんありましたが、特に図書館の広さ・本の多さが印象に残りました。
- まだ1年生だから大学のことはあまり深く考えたことはなくて、漠然としていた部分もあったけれど、今回の連携講座で大学に興味を持つことができました。勉強にも努力していきたいと思いました。
- 私は連携講座に参加して、もっと勉強をがんばろうと思いました。もうすぐ1年生もおわってしまうので、目標を見つけ、目指していきたいです。この連携講座に参加でき、本当によかったと思っています。
- 2日間ともとても充実した日々でした。疲れもありますが、それ以上に中身が濃く、とても早く過ぎていきました。こんなに偉大な虎姫高校出身の先輩方がおられると思うと、とても誇りに思います。
- 大学の中を見学して、自分の夢に向かって一生懸命な学生のみなさんや作品を見て、勇気や感動を抱きました。この講座を通して、常に目標を高く持って、後悔のないよう色々なことにチャレンジしていきたいなと思いました。
- 講義の内容は難しいこともたくさんありましたが、勉強になったと思います。この2日間で「もっと勉強しよう！いい大学に行きたい。」という思いが強くなりました。連携講座でお世話になった教授をはじめ、色々な場で活躍されている私たち(虎姫高校)の先輩方を見て、虎姫高校を誇りに思いました。この高校に来て本当によかったです。
- 今回私は、普段では体験・見学できない貴重な2日間をおくることができました。どの大学にも外国人が多くてびっくりしました。いろいろな国籍の人たちと交流できるのは大学のいいところだと、改めて感じました。
- 連携講座では、いろいろな企画を考えてくださりありがとうございました。この連携講座は、私にとって、大変よい経験となりました。また、東京姉水会の方々とも大学や地元長浜の話ができ、とても楽しかったです。
- 今高校で行っている勉強も、受験だけではなく、将来の大学生生活や社会に出てからも役に立つものが多くあるということも講義の中から感じ取ることができました。今回の体験を通して、今から自分に合った大学を探していくことの重大さを知りました。
- 自分も大学に行きたいという思う気持ちが強くなり、勉強をしようと思うことができました。また、今、自分たちが通っている学校の先輩が社会でこれほど活躍されていることを知り、本当にうれしく思うのと同時に、自分も社会で活躍し、後輩にそのように思ってもらえるよう頑張りたいと思います。

